

みどりの杜病院入院対象となる患者様

がんと診断された方で、患者様及びご家族がホスピスケアの主旨を理解されていることが必要です。(告知は必ずしも必要ではありません)在宅療養が一時的に難しくなった方や疼痛の緩和治療を考えている方、また、在宅でケアしているご家族の精神的疲労の軽減(家族のレスパイト目的)としても利用できます。

※見学(無料)も受付しております。まずお電話にてご予約をお願いいたします。

※面談の際は面談料を頂いております。



入院までの流れ

①相談窓口へのお電話

まずは (0943-23-1700) にお電話ください。
相談員が対応いたします。



②面談・診察の予約

相談内容を確認し、
面談・診察の予約を承ります。

③相談員面談後、医師診察

紹介病院からの紹介状を持参して頂き相談員の面談・医師の診察を行います。



④入院判定会議

入院の可否について検討し、
ご連絡いたします。

⑤入院

入院日程調整後、
入院の運びとなります。



みどりの杜病院広報誌

風MIDORI

～かざみどり～



R.2

10

vol.28



おいしい・簡単 おすすめ レシピ♪ 栗のパウンドケーキ

材 料

18cmのパウンドケーキ型 1 本分
・ホットケーキミックス…100g
・砂糖……………50g
・牛乳……………50ml
・サラダ油……………50ml
・卵……………1 個
・甘栗……………80g
・粉糖……………適量
・クッキングシート……………適量
(パウンドケーキ型に敷く)

作り方

- 1 オープンは 170℃に予熱を開始する。
クッキングシートはパウンドケーキ型に合わせてカットし、型に敷いて置く。
(使い捨てのパウンドケーキ型でも OK です、
その場合はクッキングシートは不要です)
- 2 ボウルに砂糖、牛乳、サラダ油、卵をいれてよく混ぜる。
- 3 2 にホットケーキミックスを入れてよく混ぜる。
- 4 甘栗を 1 個を 4 つにカットして、3 のボウルに
いれて混ぜる。
- 5 パウンドケーキ型に生地を流し入れ、170℃の
オーブンで 40 分焼く。
竹串をさして生地が何もついてこなければでき
上がり。
- 6 粗熱がとれたら仕上げに粉糖をかける。



ホットケーキミックスを使ってお手軽にパウンドケーキが作れます。
オーブンの加熱時間は焼き加減を見ながら調節してください。

編集後記

遅ればせながら、令和二年七月豪雨災害により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。今年は、新型コロナウイルス感染症、近隣でも被害の多かった 7 月豪雨、猛暑となにかと私達では太刀打ちが困難な出来事が多かったですね。そんな日々の中で、何気ない小さな幸せをみつけ積み重ねていけたらと思っています。私個人の最近の小さな幸せは、①「おいしいパン屋さんを見つけた!!」②「コーヒーの良い香り〜!!」③「なにもない日も幸せ!!」心から安心して生活できる日が来てほしいと願っています。T・K

病院理念 私たちは、あなたと家族が、
今という大切なときを自分らしく生きることに寄り添います。

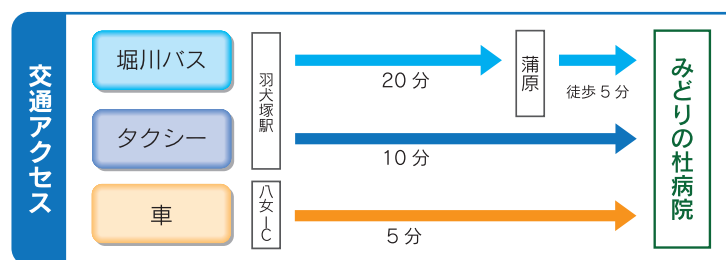
行動指針

患者や家族との関わりを、
その出会いから大切にします。

患者や家族の
生活空間に配慮します。

緩和ケアが普及し
発展することを目指します。

地域の方々が安心して過ごせる
社会をつくります。



ホームページ、フェイスブックを検索!

みどりの杜病院



検索

ホームページ <http://www.yame-midori.jp>

フェイスブック <http://www.facebook.com/midorinomori.yame>



公立八女総合病院企業団

みどりの杜病院
MIDORI NO MORI
PALLIATIVE CARE & HOSPICE

〒834-0051 福岡県八女市立野 362 番地 1

TEL 0943-23-0002 FAX 0943-23-0012

相談専用ダイヤル 0943-23-1700

スタッフ紹介

看護科 権藤 信子



みどりの杜病院のスタッフは皆明るく、いつもどこかで笑い声が聞こえてきます。入院してこられる患者さんの中にはそんな明るい雰囲気に驚かれる方もいらっしゃると思います。私たちが日々看護をする中で心掛けているのは、患者さんやそのご家族の立場になって考える事です。患者さんやご家族からしっかりお話を聞き、私が患者だったら、家族だったらどんなことを望むのかを常に考え、そのために私たちはどうすればその思いに答えられるかを考えながら関わっています。また、その関わりを通して患者さんやご家族から学ばせていただくことも多いです。そうやって私たちも成長できればと思っています。この病院で過ごされた時間が良い思い出となるように、笑顔で穏やかな療養生活が送れるようお手伝いできればと思います。

ボランティア活動再開に向けての取り組み



緊急事態宣言の解除に伴いボランティア活動再開について検討しました。活動再開に向けて、新型コロナウイルスに対する感染防止のための勉強会を開催しました。勉強会では、ボランティアスタッフおよび病院双方の意見交換を行い、受け入れ体制を整えていきました。7月より感染防止に努めながら少しずつ活動を再開しています。

イベント紹介

スポーツフェスタ 2020.6/7

イベントを自粛しているなかで、感染防止に努めながら毎年恒例で行っていたスポーツフェスタを開催しました。ペットボトルボウリング、玉投げ、魚釣りゲームの3競技を行いました。久しぶりのイベントで大変盛り上がり、「また企画して」「楽しかった」との声も聞かれ院内が笑顔であふれました。



納涼会 2020.8/27・28

例年1日かけての夏祭りですが、今年は新型コロナウイルスの影響により、2日に分けて短時間での納涼会として開催しました。初日は縁日をテーマとして千本くじやボウリング等をスタンプラリー形式で行い、またボランティアスタッフに踊りを披露していただきました。BGMには祭囃子を流し、昔ながらの雰囲気を味わって頂きました。2日目は夏の音楽鑑賞と称し医師のウクレレ弾き語りやピアノ講師2名による連弾を楽しんでいただきました。その後、看護師のサクソ演奏と共に患者さん方も打楽器を使って音を作り上げていき、ともに奏でることの楽しさを共有しました。

